

心サポネ

障害者の自立を支えるサポートネットワーク



ひとカラフルコーディネート

サポネのこれまでのあゆみ

2000年 6月
ボランティア団体(任意団体)として設立



設立当初の事務所

2002年 9月
「特定非営利活動法人 障害者の自立を支える
サポートネットワーク」設立総会

2003年 2月
特定非営利活動法人として大阪府から認証を受ける

2003年 4月 支援費制度開始
事業所として介護派遣事業を開始(中桜塚)



副代表 山上

代表 石倉

2006年 4月
障害者自立支援法施行

2012年 4月
サポネの家(生活介護・カフェ・宅幼老所)オープン

2014年11月
事務所を豊中本町に移転

2017年 4月
サポネの家オープン5周年

2020年現在
身体・知的・精神の(児童を含む)障害のある約100
名の利用があり、18名の方が自立生活されています。
スタッフ38名 登録サポーター約50名

サポートが必要な人々が集まる社会に、
互いが互いを支えあうネットワークをつくりたい。

障害がある人となない人が共に住み慣れたまちで
働き、遊び、暮らしたい。

いろんな個性のある人々がカラフルにまちで活躍できるような
システム作り、場作りをしたい。

サポネはこうした理念のもとで活動しています。



サポネのロゴマークに
込められた想い...

みんなのサポートで羽ばたいていく願いをイメージ
したデザインです。サポートがあれば誰もが自分ら
しく个性的で豊かな生活をする事ができる。それ
を支えていきたいという想いで活動しています。

サポーター(ヘルパー)派遣



「利用者の依頼に応じて、サポーター(ヘルパー)を派遣し、障害者の生活を支える事業」

障害があっても住み慣れた街で暮らしたい。こんなことがしたい、あんなこともしたい。そんな夢や生活を実現できるようなお手伝いをしたいと、サポーター(ヘルパー)派遣をしています。サポートを受けて障害のある方の生活がカラフルに生き生きとしたものになるよう努めています。24時間、365日、必要なときに必要なサポートをします。

自立生活支援



サポネでは24時間体制でサポーターを派遣しています。

障害のある方が地域で自立生活を送るために、一人暮らしの方のご自宅までサポーター(ヘルパー)を派遣し、自立生活を支援しています。

ガイドヘルパー



ガイドヘルパーもサポネの大きな事業の一つです。

休日のお出かけや買い物から、散歩などの余暇を気持ちよく過ごすことはもちろん。そんな利用者さんの「こうしたい、ああしたい」をサポネではサポートしています。

身体介護



身体介護の分野では、入浴介助・清拭・整容(歯磨き・洗顔・爪切り・耳かき・ひげ剃りなど)・朝の身支度・就寝準備・食事介助など様々なサポートをおこなっています。

家事援助



家事援助では利用者さんの日常生活に必要な掃除・洗濯・調理などの家事全般のサポートを行います。

サポネではスタッフに対して調理研修・洗濯講座などさまざまな研修を実施して技術向上に努めています。

サポネではよりよいサポートができるように以下の様々な事業に取り組んでいます！

育成・カレッジ



「介護や福祉に関する講座や研修会を開催する事業」

サポネは介護に関する講座や研修会等を月に2,3回開催しています。ただサポート(介護)をするだけでなく、今の介護技術に満足せず、講座・研修会などでよりよいサポートができるよう日々向上心を持つよう心掛けています。

そして、介護をする誰もがはじめは初心者です。

そんな初心者でもサポネの研修を受ければ安心してサポート(介護)できるように活動しています。

生活コーディネート



「利用者の生活を利用者が望むものにコーディネートしていく事業」

サポネは、サポート(介護)をする上で大切にしていることがあります。それは「利用者さん主体」です。

そのために利用者さんの今求めていること・望んでいることを事業所内に共有し、ケース会議などを開き、出来る限り利用者さんの思いを実現できるよう活動しています。

サポネの家



「住宅街にある一軒家で、宅幼老所・生活介護・カフェを行なう事業」

地域のみなさんともっとつながっていききたいという想いで設立しました。一般の民家をそのまま利用し、「ひと・カラフル」の実践の場として障害者デイサービスや、高齢の方・障害者の方・子供さん、誰もが楽しく過ごせる宅幼老所を運営しています。また、ウッドデッキもある素敵なカフェもあり、空間を分ける事なくみんなで交流できるよう活動しています。

サポネの家はこんなところ



サポネの家は「CAFEさぼね」の名前で喫茶スペースを運営しています。地域の方や利用者さん、スタッフが交流できる、どんな方でも気軽に来ていただける場所として開放しています。



「CAFEさぼね」では日替わりランチが一番人気のメニューです。本格的なランチメニューをお手頃な価格で提供しています。
お一人様¥550-



和室の様子です。利用者さん・スタッフ・ボランティア・お客さんが集まって別け隔てなく、本当の家のようにつるぎる居場所を目指してサポネの家は活動しています。



サポネの家の庭です。庭の木々や植物はボランティアさんが手入れをしてくださっています。家庭菜園もあり、季節の野菜を育てて、採れたものはランチの食材として大活躍です。

サポネの家の一日の流れ



利用者さんが集まったら朝礼の時間です。利用者さん・スタッフ・ボランティアさんの出席・欠席の確認をとったり、一日のやることを確認しあったりします。



午前中はよくお散歩へ出かけます。近所を小一時間ほど散策したり、スーパーへおつかいに行ったりします。車でドライブすることも。



昼食の時間では、スタッフが食事を配膳するのではなく、利用者さんにも食事を取りに来てもらって、「普段の家での生活」に近くなるような過ごし方をしています。



おやつが終わったら各自帰る準備をさせていただいて、順番にご自宅・ショートステイ先等へ送迎します。最長で17時までのご利用が可能です。



15時になるとおやつタイムです。本格的な手作りおやつが楽しめます。(※毎日ではありません)



食事のあとはゆったりした時間が流れます。創作活動をしたり、ゲームをしたり、お昼寝をして身体を休めたり、その人に合った過ごし方をさせていただきます。



● 事業内容

障害者デイサービス(生活介護) / 宅幼老所 / 喫茶

営業時間：10時 - 17時
 カフェ：11時 - 16時(ラストオーダー15時半)
 営業日：月 - 金(祝日も営業してます)
 休み：土・日 お盆・年末年始など
 駐車場1台有り(場合によっては2台)
 最寄り駅：上野小前・東豊中団地前(阪急バス)
 〒560-0012 大阪府豊中市上野坂1-1-8
 TEL / FAX : 06-6850-0602
 E-mail : sapone-no-ie@nifty.com
 URL : <http://www.sapone-no-ie.com/>



広報・ネットワーク



「サポネの活動を多角的に発信し、地域や社会に広めていく事業」

サポネは地域との交流も大切にしており、年3回発行している「サポネ通信」でサポネの活動をたくさんの方に知ってもらったり、地域向けの講座を開催しています。1人でも多くの方に同じ地域に障害者がみなさんと同じように当たり前のように生活をしている事と、障害について知ってもらえたらと思い活動しています。

イベント



「障害者と地域の人と一緒に楽しみ、交流するイベントづくり事業」

サポネは、年3回のイベントを開催しています。サポネのイベントは障害当事者の「～したい」という思いを実現に向けて、障害当事者のみんなで集まりイベントの企画・運営を行っています。これらのイベントを通じて、地域のみなさんやイベントに参加したボランティアのみなさんと交流し、障害とは何かを知ってもらえたらと思い活動しています。

広報・ネットワークでの活動をご紹介します！



「豊中駅前七夕まつり」に出店



取材の様子



地域交流講座



サポネ通信

サポネではこんなイベントを開催しています！



サポネクリスマス会



京都嵐山外出



ミズミュージアム工場見学



イベント実行委員会

スタッフ紹介



「ようこそサポネへ！」

車椅子ユーザーで、代表を務めています。
サポーターに支えられながら一人暮らしをしていますが、かつては両親が私の通学や生活を支える毎日でした。

「障害があっても自身で選んでいい」という当事者の先輩、実践するサポーターを目の当たりにしたこと、それが今の原点です。
これからも障害者の「～したい」を一緒に実践し続ける団体でありたいです。



「誰もが自分らしく」

私は周りの人に育ててもらいながら、色々なことができるように工夫し、多くの経験をしてきました。

「自立とは依存先を増やすこと」という言葉のように、何でも一人でやれる自立ではなく、多くの人の助けを借りて、これからも自分らしく生きていきます。

サポネのアンバサダーとして、地域の人やサポネの仲間と一緒に、誰もが自分らしく生活できる社会を創っていきたいです。



「その人の日常でもあり、私の日常でもある」

「障害者と関わることがしたい」と思いながらも、介護に関してほぼ無知なまま入職しました。はじめは利用者さんと打ち解けられず悔しい思いをしたこともありました。けれど、料理や介助方法をご本人から教えてもらい、私が友達するにつれて自然と関係性が出来ていき、やりがいを感じていきました。

また、最初の頃は私がずっと緊張しているため、利用者さんは休めるときもなかなかリラックス出来なかったと思います。しかし段々そのことにわたしは違和感をおぼえ、利用者さんがゆっくりしているときは、私もゆっくりするようになりました。

そしてサポートに慣れ始めた頃から、ご自宅に入ることが私の中で自然となっていく、「仕事しにきている」という感覚ではなく、「私の生活の一部」という感覚になっていました。そこにこの仕事の面白さと不思議さを感じます。

スタッフ紹介

「障害のある人もない人も支えあえるような場所になりたい」

サポネに入社して派遣業務を経験した後、2年目の2012年サポネの家オープンと同時に、サポネの家の所属になりました。

最初は初めての施設勤務に戸惑いつつも、初代管理者の山上の下で、サポネの理念や人と関わるうえで大切なことを直接学べたことは、私にとって基礎を作る貴重な経験でした。特に山上が立ち上げの時から語っていたサポネの家の理念である「障害のある人もない人も支えあえるような場所になりたい」というのは今でも大きな目標です。

初期の頃は1日に3~4人の利用者さんとのんびりと過ごすことが多かったのですが、ありがたいことに3年目をすぎたあたりからはスタッフも増え、一日の利用数が10人を超えることが当たり前になりました。大人数になると、少人数でできたことが難しくなり、日々の活動に追われて新しいことに挑戦することが難しくなってきます。ある意味急激な変化に戸惑っていた時期でもありました。

そういった変化を経験することも、サポネの家と共に、自分も成長させてもらったのではないかと思います。2017年に前任の退職もあって、私がサポネの家の管理者になりました。それから順調なことばかりではありませんでしたが、みんなで協力して、少しずつ良い場所になったのではないかと思います。

サポネの家はここ数年、良い意味でも悪い意味でも安定期にあると思います。メンバーに大きな変化もなく、過ごし方も日々同じようになってきました。これからもサポネの家のアットホームな雰囲気や美味しい食事などの良い部分は大切に、利用者さんに寄り添い、四季を感じ、みんなで楽しみ、初心を忘れずに、新しいことにも挑戦する気持ちを忘れないで、より一層励みたいと思います。



「2つのミッション」 ひと・カラフル・コーディネート

サポネには、2つのミッション(使命)があります。

●1つは、障害のある方の、地域での生活を支える「サポート」としての【ヘルパー派遣】を中心とした役割です。

「障害のあるひと」といっても、障害の種類や特性も様々です。みんな個性があります。その一人ひとりに合わせたサポートをするには、まずその人を知ることが大事です。その人の個性をまるごと受けとめる、知ろうとするコミュニケーションのちからが必要です。

そのうえで、その人が求めているサポートを提供できる介護技術を身につけなければなりません。身体介助技術の他に、料理・洗濯・掃除などの家事も大切なサポートです。生活力、生きるちからを向上させ、適切なサポートを提供できるように十分な研修を行っています。信頼関係をつくり、より良い「障害者の自立を支える」「サポート」を実践していきます。

●もう1つのミッションは、様々な障害のある人が、生き活きと活躍するための【まちづくり】です。

この社会は、障害があると「できないこと」がまだまだたくさんあります。それは「サポート」だけでは解決できません。「バリアフリー」「合理的配慮」などの社会モデルの意識を、多くの人々や組織に理解してもらい、社会そのものが変わらなないと、本当の意味で、障害のある人が活躍するまちにはなりません。支えが必要なのは、「障害のあるひと」だけではありません。高齢化社会、引きこもり、虐待、社会にはたくさんの課題があります。それは支えあえない社会の問題です。「サポート」の「ネットワーク」をつくっていく。私たちは、障害のある人と共に考え、みんなで支えあえる社会を、まちをつくるために活動しています。



心サポネ

障害者の自立を支えるサポートネットワーク



NPO法人障害者の自立を支えるサポートネットワーク

〒560-0021 大阪府豊中市本町1-13-34 チェリオビル3F

TEL 06-6846-7781 FAX 06-6846-7782


E-mail cqt01523@nifty.com

URL <http://sapone.or.jp/> (サポネ)

<http://sapone-no-ie.com/> (サポネの家)

SNS  <https://www.instagram.com/sapone2000/>

 <https://www.facebook.com/npo.sapone/>

 https://twitter.com/sapone_alpaca